

緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書

利用者 \_\_\_\_\_ 様

- 1 あなたの状態が下記のABCをすべて満たしているため、緊急やむを得ず、下記の方法と時間等において最小限度の身体拘束を行います。
- 2 ただし、解除することを目標に鋭意検討行うことを約束いたします。

記

- A 利用者本人又は他の利用者等の生命又は身体が危険にさらされる可能性が著しく高い（切迫性）
- B 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する介護方法がない（非代替性）
- C 身体拘束その他の行動制限が一時的である（一時性）

個別状況による拘束が必要な理由	
身体拘束の方法（場所、行為）	
拘束の時間帯及び時間	
特記すべき心身の状況	
拘束開始及び解除予定	

上記のとおり実施いたします。

令和 年 月 日

事業所名 社会福祉法人陽光会 いちちょうの家  
施設長 印  
記録者 印

(利用者・家族の記入欄)

上記について説明を受け、確認いたしました。

令和 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_  
(本人との続柄 \_\_\_\_\_ )